

アジェンダ21すいた 会議記録表

作成者：宮嶋

会議名	平成27年度12月 幹事会
日 時	平成27年12月9日（水） 10:00~12:00
場 所	吹田市役所 高層棟2階 環境部会議室
出席者(敬称略)	幹 事：三輪信哉、伊藤忠征、福井一彦、安本修、小田信子、増田汐里、松本宝 すいた環境教育フェスタ実行委員（エネルギー部会員）：森田宏、中野政男 事務局：石井仁美、宮嶋督高
欠席者(敬称略)	幹 事：水川晶子、池淵佐知子
議事次第	1 フラッグシッププロジェクトについて 2 「吹田市CO2 ダイエット学校版（夏休みの宿題）」プロジェクトについて 3 すいた環境教育フェスタへの参加について 4 地球温暖化防止の日 プロジェクトについて 5 報告等 部会、団体、事務局より
配布資料	1 エコウォークの地図 2 エコウォークのアンケート集計結果
議事概要	<p>【1 フラッグシッププロジェクトについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より、アンケートの集計結果及び会計報告を行った。アンケートでは、概ね好評であったが、良かったこととして、中西邸の見学、ナルトサワギクの説明、古い街並み、逆に、マイナスの意見としては、ポイントにスタッフはいたのに十分な説明がなかった等の意見があった。内容については、ニュースレターに掲載したい。 ・会計報告では、予算 15 万円に対し、支出が 14 万円と予算内に収まった。主な支出は、チラシ7万円、ジャンバー4万円、郵送料2万円であった。 <p>◇副実行委員長の伊藤さんが、実行委員会の報告を以下のとおり行った。</p> <p>◇実行委員会での意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタッフがたくさん集まって良かった。いろんな環境団体や大阪学院大学の学生にも協力してもらえてよかった。また、多くの協賛企業にも協力を得られた。 ・脱車社会へのPRをもっとすべきだった。 <p>◇幹事からの意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ただ歩くだけでは目的が伝わらない。街歩きは、いろんな団体が実施している。アジェンダがする意味がない。 ・車社会からの脱却という事ではあまり効果がなかったのでは。他の方法も考えられる。 ・参加人数が少ない。 ・アンケート結果を今後の参考にする必要がある。 ・万博ごみゼロウォークと共同実施してもいいのではないか。 <p>◇三輪代表より総括</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吹田北部、南部、東部で思考を変えたエコウォークを3回実施した。今後については、実行委員会、幹事会での意見を踏まえ、来年度も実施するのか、または、今回で終わりにして総括するのかを検討したい。

議事概要

【2 「吹田市CO2ダイエット学校版（夏休みの宿題）プロジェクト」について

◇三輪代表より、今回の実施を踏まえて、今後の課題や問題点の提案があった。

・今年度は3校実施したが、来年度に大きく広げることは簡単ではない。今回は、千里リサイクルプラザの働きかけで実現したが、実施校を増やすのであれば、協力してもらえる教員を捜す方が効果的ではないか？

◇幹事からの意見

・大阪ガスでは、吹田市内の小学校5校～6校で毎年出前授業を実施している。出前授業を実施している学校の先生にお願いすることは可能である。

・プラザで学習支援を実施しているエコクラブの先生にお願いすることは可能である。

・プラザが主催する環境学習発表会（1/30 実施予定）の中で実施校の取組を紹介するなど、できないか。

◇事務局より報告

・大阪府が、環境教育の出前授業（無料）を開発し、教育委員会に希望調査を実施している。また、議会でも、教育委員会に対してアジェンダが取組んだ「子ども版CO2ダイエット」関連の質問があり、アジェンダの取組結果については「検討する」と答弁されている。

◇三輪代表より総括

・来年度も引き続き実施していきたい。なお、実施校や実施方法については、幹事からの意見も踏まえ再考したい。

【3 すいた環境教育フェスタへの参加について】

◇すいた環境教育フェスタの出展内容の検討を行った結果、以下の内容で決定した。

◇出展内容

・資源部会が給茶コーナー（マイボトル・マイカップ体験）を設ける。

・神戸のCO2減（シオツゲン）の会の「エコ双六」を軸に、10枚程度パネル展示をする。

展示内容は、エコウォーク及び部会からの啓発パネルとする。

・「エコ双六」は、団体が無償で実施してくれる。交通費や運搬費については、エネルギー部会の中野氏が調整することになった。

・併せて、スペースの問題についても、神戸の団体に確認することとした。

・参加者の景品（お菓子、文房具等）についても、後日検討することとした。

◇その他

・「エコ双六」はエネルギー部会、給茶コーナーは資源部会が担当する。また、自然部会では、なにわ伝統野菜の啓発を検討したが、今回は、スペースの問題もあり、展示を見送ることとした。

【4 地球温暖化防止の日 プロジェクトについて】

◇三輪代表より、当プロジェクトについて以下の内容の提案があった。

◇提案内容

・市民、事業者、行政が一体となって地球温暖化防止の日を定め、取組みを進める。

・実施期間は、温室効果ガス削減目標年の2020年度までの5年間のプロジェクトとし、温暖化防止の宣言形式とする。宣言は、個人（家庭や個人）団体（団体や事業者）

<p>議事概要</p>	<p>とし、内容は、一日宣言（地球温暖化防止の日）と年間宣言の2種類してもらう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・賛同企業や賛同してくれる団体を募り、アジェンダのホームページ上で公開する。 <p>◇幹事からの意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アジェンダだけで実施するのではなく、市内環境団体との協働で実施した方がいいのでは？また、母子会、障がい者団体、商工会議所とも連携し実施した方がいい。 ・最初からアジェンダで企画を決めてしまうと他の団体は参加しにくい。 ・地球温暖化の啓発以外にも、音楽や踊りなどの余興を取入れたり、吹田市長による優秀事業者や団体の表彰式を行うなど、みんなが集えるイベントにした方がいいのでは？ ・キャンドルナイトは少し趣旨が違うと感じる。 ・6月5日の環境デーがいいのでは。 <p>◇三輪代表より総括</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来年度の実施日は、環境月間の土日の一日とし、それまでに、市内環境団体や商工会議所、大学、福祉団体、自治会等にも声掛けを行う。素案は、アジェンダ、プラザ、市民環境会議、SELF等で年度内には作成する。 <p>◇事務局から報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「すいた環境サポーター」の活用方法として、受講生が定期的集える場の設定を考えている。例えば、アジェンダが主体となり、環境サポーター、市内環境団体が集える場を設定してはどうかと考えている。「地球温暖化防止の日プロジェクト」と連動する部分もあるが、環境団体との連携を図ることはアジェンダの計画にもあり何らかの取組みを進める必要がある。 <p>【5 報告等 部会、団体、事務局より】</p> <p>◇エネルギー部会主催「エコキャンドル」における講師謝礼の受領について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回は、公民館の基準に基づき受領するものなので、受け取ることにした。今後も、施設の基準に基づき支給される講師謝礼については、受け取ることで確認した。また、特に講師謝礼の基準がない施設の講座についても、効果的に啓発が出来るものであれば無償で実施することで確認した。 <p>◇エネルギー部会中野氏より以下の4点の提案があった。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 市民・事業者等を対象とした、省エネセミナーを開催したい。 <ul style="list-style-type: none"> → エネルギー部会主催で、行う。講師は省エネルギーセンターより無料派遣してもらえる。3月上旬を目途に開催する。中野氏が調整することとなった。 (2) 省エネ相談窓口（無料）を市民相談課に設置してもらえないか。 <ul style="list-style-type: none"> → 引き続き働きかけを検討することとした。 (3) アジェンダのHPを通じて省エネ事例の紹介をしてはどうか。 <ul style="list-style-type: none"> → ホームページを有効活用していくことで確認した。 (4) 省エネの啓発ツールとして環境家計簿と省エネナビを有効活用してはどうか。 <ul style="list-style-type: none"> → 可能な範囲で啓発を行うことで確認した。
<p>次回の日程</p>	<p>平成28年1月14日（金）10：00～ 環境政策室会議室</p>